

パラアイスホッケーについて知ろう

パラアイスホッケーって何？

パラアイスホッケーは足に障がいのある選手のためのアイスホッケーです。1チームは15人で、氷の上にはゴールキーパーもふくめて6人が乗ってプレーをします。体力のしょうもうがはげしいスポーツなので、選手はプレー中でも次々と交代します。

アイスホッケーとはどうちがうの？

基本的なルールはほとんど同じです。足に障がいがあるので、「スレヅジ」と呼ばれるスケートの刃(は)が2枚ついたソリに乗ってプレーをします。

道具の説明

ぼうぐ

パラリンピックようぎの中で、ゆいいつ体当たりをしてもいいスポーツなので、体を守るためヘルメットやひじあてなどのぼうぐをつけます。

パック

かたいゴムで出来た円ばんです。じそく100キロで飛んでくることもあります。

スティック

2本もちます。先に金ぞくのギザギザ(ピック)がついていて、これを氷につきさして前や横へ自由に動きます。たいらな方でパスやシュートをします。

スレヅジ

足をのばして座ることの出来るせんようのソリです。底に2まいの刃(は)がついています。



うでの力だけですがごくはやく進むよ！

どんな選手がいるの？

ひざから下がなかったり、両足がまひで動かない選手がいます。障がいをもった理由は、事故や生まれつきの病気などさまざまです。

ふだんは、お仕事をしながら、ホッケーの練習をしています。



日本代表はどんなチーム？

今から20年前にかいさいされた長野パラリンピックに出場するためにけっせいされました。

2010年のバンクーバーパラリンピック(カナダ)では、銀メダルをかくとくしました。

長野県岡谷市にある「やまびこスケートの森」で合宿をしています。



日本代表のマークです。火の玉のようにもえるパックをイメージして作られました。

ピョンチャンパラリンピックに出るので、ぜひ応援してください。